



特集

あなたの胃は大丈夫？

胃の健康診断

- 医心伝心～医の最前線から～
- ナース・フェイス 私の看護、私の思い
- VOICE 医療連携の現場
- シリーズ 清恵会三宝病院
慢性期療養病棟が取り組む充実した入院環境づくり
- 学院だより
地域医療の未来を支える若き力
- 気軽にお体メンテナンス
早期のチェックで病気にチャック!
- 清恵会グループ通信

専門医師が語る

胃にまつわる 話題の疾患

清恵会病院 内科 副部長
内視鏡センター センター長
星本 真弘

1994年、大阪医科大学医学部卒業。武田総合病院消化器内科、大阪医科大学第2内科等を経て、2003年に清恵会病院へ入職。日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構のがん治療認定医。

**胃の疾患の代表格、
胃がんと潰瘍について**

胃の疾患というと、以前は日本で最も死亡率と発生率の高かった胃がんが挙げられます。胃がんは、進行すると胃の痛みや出血、食物がたまる感覚、さらに腹水などの症状が現れますが、早期の場合は潰瘍（かいよう）を合併していないと自覚症状がありません。堺市の胃がん検診は、40歳以上の人では500円、65歳以上の方なら無料で受診できるので、きちんと検診を受けて早期発見を心がけていただきたいと思えます。

自覚症状が比較的分かりやすい胃潰瘍と十二指腸潰瘍も、一般的には消化性潰瘍といって胃に関わる疾患です。潰瘍は、本来、胃酸から胃壁や腸壁を守る働きのある粘膜が胃酸によって消化され、深くえぐり取られた状態のことをいいます。胃部の不快感、痛み、消化不良などの症状があり、出血を起して吐血や下血がみられます。ひどいときには、胃壁や十二指腸壁を貫通して穿孔（せんこう）という消化管に孔（あな）が空く状態になります。胃潰瘍は、40歳以降の人に多くみられ、十二指腸潰瘍

は10〜20代の若年者に多くみられます。また潰瘍は、治療しても50〜70%の人が1年以内に再発するといわれています。原因は、アシピリンやNSAIDs（エヌセイド）という鎮痛薬の副作用、ヘリコバクター・ピロリ菌（以下ピロリ菌）の感染、ストレスなどが挙げられます。

さまざまな胃の疾患に影響を及ぼすピロリ菌

最近、ピロリ菌の除菌に対する保険適用拡大のニュースが伝えられました。これは、胃に生息する菌で、一度感染すると慢性的に感染します。1992年のデータでは日本人の約50%が感染しており、ピロリ菌による直接の身体変化として胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍があります。また、胃がんの患者にピロリ菌感染者が多いという観察データから、胃がんの原因の一つとも想定されています。

実は、疾患を引き起こすメカニズムは完全に解明されておらず、感染者が必ず胃がんや胃・十二指腸潰瘍になるわけではありません。ただ、今回の保険適用拡大によって、胃炎という早期の症状に

PICK UP 除菌により、胃の疾患の予防にも期待



今年に入り、厚生労働省が、従来の胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病に対するピロリ菌除菌の保険適用を慢性胃炎の治療にも拡大することを認めました。2013年2月21日から適用されており、胃のがんや潰瘍の予防にも期待されています。

胃の健康診断

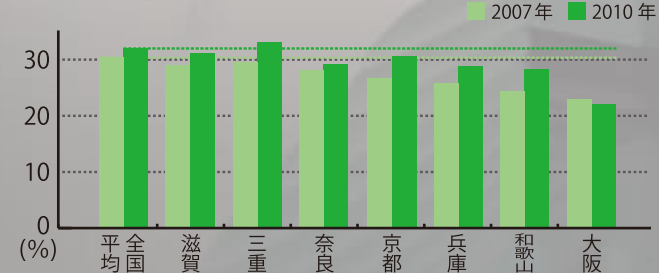
特集

あなたの胃は大丈夫？

胃がん検診の受診率が、全国ワーストとなっている大阪府。最近では、ピロリ菌に関わる疾患や逆流性食道炎など、胃にまつわる話題が注目されています。

今回の特集では、主な疾患から新しい保険適用制度、検査・検診まで、胃の健康についてご紹介します。

日本の主な地域の胃がん検診率 (40〜69歳男女計) 国立がん研究センターがん対策情報センターのグラフより作成



2010年の大阪府の胃がん検診受診率は、40歳以上の男女計で21.5%と全国ワーストです。また大阪府内46市町村のうち堺市の受診率は、2007年が男女計4.2% (39位)と非常に低い受診状況となっています。

※データ：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

消化器の専門機関として、内視鏡センターを設置している。清恵会病院の内科には、消化器の専門機関として、内視鏡を使った検査や治療を行う内視鏡センターを設置しています。内視鏡とは、光学系機器を内蔵した細長い管を挿入して体内の臓器を見る医療機器です。上部消化管内視鏡(胃カメラ)、下部消化

消化器の専門機関として
内視鏡センターを設置

早期・定期がおすすめ!

清恵会病院の検査・検診体制

目に見えにくい胃は、的確な診断力が重要です。
星本先生の解説のもと、清恵会病院内科の検査・治療体制をご紹介します。

内視鏡の専門スキルを持つ
医師とコメディカルが対応

内視鏡センターには、センター長

「最近では、カプセル型の胃カメラも話題になっていきます。希望される方は、当院と連携している大阪医科大学附属病院へご紹介しますので、そちらでカプセル型での検査を受けることができます。」

内視鏡検査装置2台を備えた清恵会病院の内視鏡室では、治療だけでなく、各種の検診や健康診断、人間ドックでの内視鏡検査を実施。胃カメラは、月曜から土曜まで毎日行っており、検診や治療を含めて年間約1700例の実績があります。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

管内視鏡(大腸ファイバー)などがあります。内視鏡センターでは、胃カメラでの観察や生体検査などの検査・検診のほか、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)といった早期胃癌の治療も行っています。そのほか、内視鏡から造影剤を注入して胆道系や膵管(すいかん)を検査する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)も行っています。

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」

「週5日受け付けている検査・検診でも専門医が担当します。的確な診断と治療を提供し、安全でスピーディな検査体制を整えています。」



人間ドック案内

受付先 TEL:072-251-8199 (代)内線1414 (受付時間 午前8:30~午後5:00)

●人間ドックコース紹介

<p>(約3時間) Aコース</p> <p>身体計測・血圧測定・胸部X線・胃部X線・心電図検査・尿検査・糞便検査・血液検査・肝機能検査・脂質検査・膵機能検査・腎機能検査・糖尿病検査・血清検査・眼科・問診</p>	<p>(約3時間30分) Bコース</p> <p>人間ドックAコース+腫瘍マーカー(がん検査)・前立腺癌検査(男性)／婦人科検査(女性)・肺機能検査・腹部超音波検査</p>
---	--

詳しくは、清恵会病院のサイトをご覧ください。<http://www.seikeikai.or.jp/patient/dock.html/>

PICK UP 胃がんを知る

統計データでは、昭和40年代の胃がんの罹患率(りかんりつ)※1は、全がん中トップの100近い数値でした。しかし、2次予防活動や治療の進歩によって近年は50を切っており、今後とも下がると思われます。

胃がんの2次予防活動として検診があります。現在、日本消化器がん検診学会で唯一有効性が証明されているのがバリウム胃透視です。この検査で異常が認められると、精査として内視鏡検査(胃カメラ)が行われます。住民健診や職域検診では、バリウム胃透視とABC検診(※2)やピロリ菌検査も行われる場合があります。すでに胃がんのある方には、内視鏡検査と胃の周囲の検査としてCT検査やPET検査などが行われます。

清恵会病院 外科 顧問
古河 洋

1971年、大阪大学医学部卒業。胃がんの外科治療、消化管がんの化学療法を専門に大阪府立成人病センター第一外科部長、大阪大学臨床教授、市立堺病院院長など数々の要職を歴任。2012年より、近畿大学医学部上部消化管外科特任教授。

※1：特定期間内のある集団に生じた新患者数の割合。主に人口10万人当たりの数値で示す。
※2：採血でピロリ菌感染と萎縮性胃炎の有無を調べる検査を組み合わせて胃がんのリスクを調べる検診。

清恵会病院の外科では、内視鏡治療のできないがん進行胃がんに対して手術・化学療法を行っています。早期がんは腹腔鏡手術、進行がんでは定型的な手術から拡大手術まで行います。術前・術後の化学療法などは、ガイドラインにとどまらず新しい情報と治療を提供しています。

胃がんの出口

早期胃がん

Nurse Face ナース・フェイス —私の看護、私の思い—

MY テーマ 患者様のメッセージを受け取り、理解できる看護師になる

内科・小児科混合病棟で働く私の仕事

内科と小児科の混合病棟で、主に内科を担当しています。私は准看護師で、患者様への全身状態の観察や清潔保持などの援助を行っています。特に、急変時は患者様の生命に深く関わるため慎重に対応し、対応後は自分の行動や先輩方の動作を振り返り、ノートにまとめて勉強しています。最もうれしいのは、患者様が退院される時、その際の患者様の笑顔は、私の頑張る力になっています。

看護師としての私の思い

多くの患者様は、突然の入院や検査、また今後について不安を抱えています。その不安を軽減できるように、常に、じっくりとお話を聞いて患者様の訴えを理解し、精神的なサポートができるように心がけています。今の私の目標は、看護の知識と技術を深めて看護師になること。日々、スキルアップに励み、患者様の望むタイミングで手を差し伸べることができる看護師になりたいと思います。



清恵会病院 中3階病棟 准看護師
本田 篤子さん

Profile
2011年4月入職。「私は、人と関わるのが大好き。常に笑顔を決して絶やさないで患者様と関わり、信頼関係を築きたいです」

MY テーマ 手術時間の短縮の助けとなり、患者様の不安と負担を軽減する



清恵会病院 手術室 看護師
福本 弘明さん

Profile
2011年4月入職。「今は、すべてが勉強中。目標とする先輩に近づけるように、日々、学んでいきたいと思っています」

手術室での私の仕事

手術室の看護師として、器械を滅菌状態で準備し、手術中には医師に手渡し介助する「器械出し」を行っています。また、手術後の患者様の全身管理や精神的なケアも行います。患者様は、手術に対する不安を抱えておられます。そのため、患者様が少しでも安楽に、また安心して手術を受けることができるように、常に自問自答と工夫をしながら、一人ひとりに合った看護を提供するように心がけています。

仕事に対する私の思い

手術は患者様にとって、非常に密度の濃い時間だと思えます。患者様は手術の前に緊張や不安の中で過ごされるので、看護師がその代弁者でいなければならないと考えています。一方、手術の際は、患者様が1分でも1秒でも早く退出できるように、素早かつ確かな器械出しを心がけています。執刀医の先生から「ありがとう」と言われると、医師にも患者様にも貢献できたという喜びを感じます。



清恵会病院 産婦人科部長 天川 一郎

Profile
1948年生まれ。'75年に鳥取大学医学部を卒業後、内科・麻酔科で研修。'77年、大阪大学産婦人科教室に入局後、大阪府立病院(現・大阪府立急性期・総合医療センター)産婦人科で勤務。2003年、現職として清恵会病院へ入職。日本産婦人科学会専門医、母体保護法指定医。

医心伝心 #12

～医の最前線から～

命に対して誠実に向き合い、
安心で安全な医療を提供できる
産婦人科を作り上げる。

30年以上の経験と技術、
充実の体制で女性を助ける

清恵会病院の産婦人科部長として、すべての患者様を診ています。当科では、子宮筋腫、子宮がん、卵巣腫瘍など婦人科手術全般をはじめ、更年期障害、不妊症、婦人科感染症、避妊などの検査、また漢方治療や心配事のご相談など女性の幅広い不調に対応しています。近年、子宮頸がんやクラミジアなどの性感染症が若い方に増え、子宮がんの検診やワクチン接種も積極的に行っています。子宮がん検診は、診療のクーポン券や市町村の補助もありますので、できるだけ多くの人に、気軽に受診して欲しいと思います。

当科は、2011年3月から分娩(ぶんべん)を休止していますが、当院で妊婦健診を行い、分娩は連携している阪和住吉総合病院で行うセミアオープンシステムが確立しています。私も長年の分娩経験がありますし、帝王切開になることが多い逆子を正常な位置に直す胎児外回転術を30年以上も手がけていますので、妊娠・出産においても安心して受診していただけたらと思います。

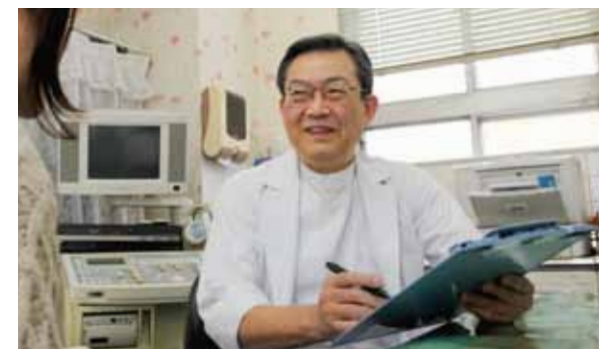
私は、父親が産婦人科の開業医で、私も自身も産科の臨床に携わりたいという思いが強く、産婦人科の道を選びました。赤ん坊がこの世に産まれる場に関わる。そこが、産婦人科医としてのやりがいですが、ただ、分娩の現場では、助産師の力が主となります。そのため、法人グループの清恵会医療専門学院の講師として助産師を目指す学生の教育にも力を注いでいます。

美術館や家でも楽しむ 陶磁器が一番の趣味

お茶の盛んな鳥取で過ごした大学時代には、医学のほかに熱中できるものがありませんでした。趣味の陶磁器です。私の場合は鑑賞が中心で、妻と美術館での展覧会や各地の窯元に足を運んでいます。絵画の展覧会も好きですが、陶磁

器は食事や晩酌の際に、購入した酒器や食器のうちどれを使おうかと考えるのも楽しいですね。焼き方の特徴などを考えながら眺めていると、心が落ち着きます。

仕事において、現在、楽しみにしているのは、2015年の新病院への移転です。移転後は、当科で分娩の取り扱いを再開する予定ですので、設備もスタッフも充実した体制にしたいと考えています。その中でも、誠実に生きる、命を大切にするという意識は、変わらず胸に抱き続けていきたいと思っています。



清恵会の特色である、医療連携の現場を皆様にお伝えします。

VOICE 医療連携の現場

Vol.7 清恵会病院の『病病連携』—病院間の協力と連携・転院について

清恵会三宝病院には、市立堺病院から転院された患者様が多数入院しています。今回は、両病院間の連携についてご紹介致します。

両病院の情報交換 清恵会三宝病院（以下三宝病院）医療福祉相談室の職員が、市立堺病院医療相談窓口担当者（医療ソーシャルワーカーや看護師）を定期的に訪問。市立堺病院に入院している患者様の治療の見通しや、三宝病院の病床の空き状況などについて情報交換し、互いの状況を共有します。



市立堺病院からは、当院の回復期治療・透析・療養を必要とされる患者様を幅広くご紹介いただいています。両病院が定期訪問で得た情報を十分に活用し、迅速に「面談→検討→転院」を進めることで、患者様の治療の継続性を保っています。市立堺病院との連携のもと、合併症等で再び急性期診療が必要となった患者様にも円滑に対応するなど、緊密な『病病連携』による切れ目のない医療と、患者様が安心して療養できる環境を日々提供しています。

市立堺病院は、2012年4月より地方独立行政法人に移行し、新しい一歩を踏み出しました。当院では、年間7,000件を超える救急搬送を受け入れ、治療期においても患者様に早期にリハビリテーション（以下リハビリ）を受けていただく体制を取り、スムーズな社会復帰を支援しています。三宝病院へは、機能回復に期間を要する疾患や継続したリハビリが必要な患者様の転院を受け入れていただいています。事前に、三宝病院のスタッフが患者様に面接されるので、患者様も安心して転院していただいています。

地方独立行政法人 堺市立病院機構 市立堺病院
〒590-0064 堺市堺区南安井町1丁目1番1号
診療科目/全25科 病床数/493床 電話/072-221-1700(代)
URL:<http://www.sakai-city-hospital.jp/>

- 1 市立堺病院にて転院先選定
社会復帰へのイメージが湧くように、入院早期から主治医から患者様へリハビリの必要性を説明します。患者様の意向も伺いながら、原疾患や合併症の状況に応じた転院先の病院を選んでいます。
- 2 三宝病院へ転院を紹介
市立堺病院から、三宝病院へ転院を希望される患者様の診療情報やお薬の情報などが書面にて連絡されます。
- 3 ご本人との面談
市立堺病院医療ソーシャルワーカーの同席のもと、三宝病院の医療福祉相談室員が、入院中の患者様と面談。病棟内での生活状況や身体機能・リハビリ内容などを確認します。
- 4 三宝病院内でカンファレンス
医師をはじめ、各部署のスタッフが集まり、転院される患者様に必要な事項を検討します。
・ご依頼の内容とおりのお薬が準備できるか
・病状に適した病棟生活環境を提供できるか
・ご希望に沿ったリハビリを用意できるかなど
- 5 ご家族の方の三宝病院見学
病院見学の際に医療ソーシャルワーカーがご家族へ④の内容を説明し、転院後の生活について理解を深めていただいています。
- 6 三宝病院への転院
必要に応じて、三宝病院の職員が市立堺病院へお迎えに参ります。



シリーズ12

清恵会三宝病院

慢性期療養病棟が取り組む 充実した入院環境づくり

歌い、運動し、季節を感じる 潤いのある入院生活を提供



「ラジオ体操第1、はじめ！」
このかけ声で、3-B病棟の談話室は、体育館に変わります。急性期の治療を終えた慢性期の治療・療養中の患者様が入院している3-B病棟で行われている、午後のひとときを利用したレクリエーションの時間の始まりです。レクリエーションには、車椅子の患者様やベッド上の患者様、ご面会の方が参加します。ラジオ体操の後には、CDから流れる曲に合わせて、昔懐かしい歌の大合唱へと続きます。「しらかば〜、あおぞら〜、みくなくみ、か〜ぜ〜」。元氣な歌声が、病棟内に響きます。
この取り組みを始めてから、もう3年がたちました。中には、レクリエーションの時間を心待ちにしているファンもおられます。



最高年齢99歳、平均年齢は80.3歳と高齢の入院患者様が多い当病棟では、毎日の生活に刺激や楽しみを感じていただけるような取り組みを行っています。患者様の健康状態に注意し、入院生活に張り潤いを提供し、今できていることを低下させず日々の生活の応援をする。そして、希望する未来へ繋げるお手伝いのでければ…。そんな思いから、3-B病棟のレクリエーションは始まりました。また、季節に応じて、「夏祭り」「クリスマス会」などをスタッフ一丸となって企画・運営しています。
病院と聞けば、「治療の場」や「痛いこと、怖いことがある」というイメージを持っている方が多いのではないのでしょうか。しかし、当院のような慢性期療養病院は、少し違います。患者

様が大変な治療を終えられて、社会に復帰するための治療や療養の時間を過ごす場所。生活の場としての病院です。
ここで少し、清恵会三宝病院についてご紹介させていただきます。当院は、大和川の南に位置し、最寄り駅は南海本線の七道駅です。院内は、慢性期療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、人工腎臓透析病棟で構成され、ベッド数は300床を数えます。急性期治療を行う清恵会病院をはじめ、地域の急性期病院とも連携して地域医療を担う医療型療養病院です。
当院に入院されている患者様は、さまざまです。順調に退院される方もおられますが、中には病気の治療のために身体機能が著しく低下し、自分の力だけでは入院前のような生活を営めない方もいらっしゃいます。そんな患者様やご家族には、公的なサービスを利用しながら、看護師や医師、ソーシャルワーカーが共に協力して次のステップへ進むお手伝いをしています。
私たち3-B病棟のスタッフは、いつも患者様やご家族のそばに寄り添い、共に悩み、笑い合える、そんな存在であり続けたいと願っています。その思いとともに、今日も談話室で、手拍子とともに「しらかば〜」と歌い続けています。
(3-B病棟 師長・奥村美加)

学院だより

地域医療の未来を支える若き力

清恵会医療専門学院
清恵会第二医療専門学院

生徒に看護の魅力を伝える!! 高校で模擬・体験授業を実施



昨年11月29日(木)、大阪府立貝塚南高等学校で、「包帯法」をテーマに高校1年生を指導する模擬授業・体験授業に参加しました。清恵会医療専門学院からは、「看護への関心が湧くような、記憶に残る授業にしよう!」と、大久保光枝先生と谷上恵理先生が参加。高校の先生のお手伝いのもと、生徒たちに体験してもらいながら包帯の巻き方を指導しました。

看護の模擬授業では、大久保先生の面白い話に教室内は笑いでいっぱい。体験授業では、谷上先生の確かな包帯

の巻き方を見て、「包帯を巻くのがこんなに難しいなんて」「身体の部分によって巻き方が違うんだ」と生徒たちは驚きの声を上げていました。また、上手に巻けたときの生徒たちのうれしそうな顔は、患者様から「ありがとう」の言葉をいただいたナーズのような、とてもいい表情でした。

今回の体験授業は、生徒たちにとって、自分の働く姿をイメージしたり、漠然とした夢が目標に変わったりと、将来の進路の選択肢を広げる機会になったと思います。もちろん、看護は人の命に関わる仕事であり、安易には決めることができません。しかし、当学院では、一人でも多くの生徒が人々の役に立てる看護職を選択し、進んでいく道をサポートできるように尽力していきたいと考えています。



2014年度入學 学校見学受付中!!

両学院では、随時、学校見学を受け付けております。医療法人清恵会が全面バックアップする充実の教育環境をご覧ください。

清恵会医療専門学院

第1看護学科 / 第2看護学科 / 准看護学科
堺市北区百舌鳥北町2丁83番
TEL: 072-259-3901

清恵会第二医療専門学院

理学療法士科 / 放射線技師科
堺市堺区向陵西町4丁5番9号
TEL: 072-222-6226

詳しくは
WEB&携帯で



<http://gakuin.seikeikai.or.jp>

早期のチェックで
病気にチェック!

気軽に骨密度メンテナンス

第十二回 骨密度測定検査

——後編・検査方法について

平均値と比べ、自身の骨の強さを知る

何を調べる検査ですか?

骨密度測定装置を用いて、患者様の骨密度(カルシウム量)を測定する検査です。

検査にあたっての注意点は?

腰や骨盤周辺に湿布薬やカイロなどを貼っておられる場合は、検査前に外していただきます。また、妊娠の可能性のある方は、検査できない場合があります。必ず、事前に担当医師へご報告ください。

検査の方法は?

検査着に着替えていただき、まず腰部の検査を行います。腰部の測定では、両膝の下にクッションを置き、膝を屈曲した状態で行います。X線による検査でベッドに仰向けに寝ているのですが、測定時に体を動かさないようにしてください。測定時間は、標準体格の方で90秒程度です。



腰部の検査を終了して1〜2分後に、股関節部の検査を行います。この検査は、両膝を伸ばしてやや内股の状態です。測定時間は、90秒程度です。着替えや腰部と股関節部の測定を合わせても15分程度で終了します。

測定の結果は?



① 同年齢の平均値との比較・検査した方と同年齢の平均骨密度を比較し、平均値の何%の骨密度があるかが示されます。
② 若年成人の平均値との比較・骨形成の段階で最も骨密度が高いといわれる25〜32歳の平均骨密度に比べて、何%あるかが示されます。
主治医から検査結果の説明があり、治療が必要な方には投薬などが開始されます。骨密度が気になる方は、遠慮なく医師にご相談ください。

(清恵会三国丘クリニック・放射線科)

清恵会グループ通信

「献血活動40年以上」の功勞に対し 日本赤十字社から感謝状をいただきました。

2012年12月、清恵会病院が活動年数40年以上の献血功勞団体として、エル・おおさか(大阪府立労働センター)で開かれた贈呈式「大阪府献血感謝のつどい」で表彰されました。日本赤十字社は、継続的に献血に協力した個人や団体へ感謝の意を表するため、毎年、当表彰を行っています。贈呈式では、活動年数40年以上の団体が20団体、30年以上の団体が50団体など多くの方々が表彰されました。病院関係は、清恵会病院を含めて3団体、個人では最高功勞となる1050回以上の献血活動を行った方がいました。

清恵会病院は、1970年に内科・外科・整形外科・脳外科・産婦人科の5科、病床数87床で開院しました。その後まもなく始まった職員の献血活動は継続的に実施され、近年は、年に2回の献血車の来院が恒例となっています。一般の方も受け付けていますので、献血車が来た際には、近隣の皆様も積極的なご協力をいただきますようお願い申し上げます。



清恵会グループのご紹介

+ 清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁2番10号
TEL.072-251-8199(代)

+ 清恵会向陵クリニック

人工腎臓透析外来

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁2番11号
TEL.072-251-8199(代)

+ 清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリテーション

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号
TEL.072-257-6074

+ 清恵会医療専門学校

看護師・准看護師養成校

〒591-8031 堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地
TEL.072-259-3901

+ 清恵会本部

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号
TEL.072-251-8199(代)

+ 清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4-1
TEL.072-226-8131(代)

+ 清恵会三国丘クリニック

専門外来(予約制)

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁4番10号
TEL.072-251-8199(代)

+ さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4-1
TEL.072-225-0066

+ 清恵会第二医療専門学校

理学療法士・診療放射線技師養成校

〒590-0026 堺市堺区向陵西町4丁5番9号
TEL.072-222-6226

+ ケアプラス(照恵商事株式会社)

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁6番25号神田ビル2階
TEL.072-259-4622

TOPICS! 清恵会NEWS

SEIKEIKAI NEWS

清恵会三宝病院に「きらきら訪問リハ三宝」を開設

2012年12月に、清恵会三宝病院介護事業部が訪問リハビリテーション「きらきら訪問リハ三宝」を開設しました。当施設では、作業療法士・理学療法士が利用者様のご自宅へ訪問して、全身状態と生活環境を考慮したリハビリテーションを提供します。ご自宅で自立した日常生活を送ることができるように、利用者様とご家族をサポート致します。

- ◆ 利用対象者: 要介護1~5の方、要支援1・2の方
- ◆ 対象エリア: 堺市の堺区・北区
及び大阪市住之江区・住吉区の一部
- ◆ 訪問リハビリの内容(一部)
 - ・ 基本動作訓練(起き上がる・立つ・歩くなど)
 - ・ 日常生活動作と関連動作訓練(トイレ・入浴・掃除・買物など)
 - ・ 住宅環境の設定・福祉用具利用のアドバイス



お問い合わせ 清恵会三宝病院 介護事業部 電話 072-225-0066

清恵会グループのWebサイトもご利用下さい

リハビリテーションをはじめ清恵会グループの特長やお知らせ等を掲載しています。スマートフォンサイトからも手軽に清恵会病院の情報をご覧いただけます。

清恵会

検索

<http://www.seikeikai.or.jp>

